

令和6年度 第2回福祉センター運営委員会会議録（要旨）

1. 日 時 令和6年12月19日（木）午後4時00分から午後5時15分
2. 場 所 村営やまなみ荘 瑞雲の間
3. 出席者 委 員：丸山 正（会長）、藤澤幸恵、望月典子、太田 譲、字引文威、
松澤壽恵、宮川昌直、腰原 隆、藤原久紀
村 : 村 長 藤澤泰彦、副村長 牛越宏通 所 長 中山茂也、
副所長 甲本太郎、支配人 小坂部元、料理長 牛越 実

4. 協議事項

（1）令和6年度の運営状況について

※令和6年度の運営状況（事業実施状況、収支状況、利用者数等）について資料により説明

問：お風呂の決算の状況で、ランニングコストはどのくらいか。

答：プロパンガスの燃料代は37万円で、水道は風呂、厨房、客室全体で97千円、個々には不明だが風呂は井水を併用しており多くはかからない。電気は本館全体で444千円、風呂のみは不明。そのほかサニタリーなどの消耗品で3万円ほどとなる。

問：バイオマスボイラーの燃料代はどのくらいになるか。

答：現在、バイオマスボイラーの整備工事を実施しており、来年度、改修工事と併せて浴室への接続工事を行う予定だが、稼働の時期や燃料代などについては現在調整しておりまだ決まっていない。

問：繰入金について13百万円との説明があったが、3月までの年額ということでしょうか。

答：3月までの見込みを含めて予算額13百万円としている。

問：食堂の売り上げが伸びているが、今後収入を伸ばすには宿泊がポイントとなると思うが、何か方策は考えているか。

答：企業や団体への営業の強化、今年度多かったスポーツ施設を活用したスポーツ合宿誘致を進めていきたい。

問：10月に催されたラベンダー風呂がとてもよかった。

答：今後は、時期も検討して行いたい。

問：風呂の衛生管理について

答：水質検査は規定により実施している。その他水質についてはろ過機業者と相談し今後も確認する。

問：人件費や物価高騰など厳しい状況の中、宿泊宴会を増やすような検討をして欲しい。

答：現在、リーダー会等でも検討している事項であり、引き続き検討する。

(2) その他

○やまなみ荘施設改修事業について（令和6年度・7年度事業）資料により説明

○1月のプラン チラシにより説明

問：バイオマスボイラーのチップの乾燥状態が重要だと思うがメーカーと確認しているか、後々トラブルにならないようにスムーズに運用して欲しい。

答：しっかり乾燥した木材チップを搬入するよう検討している。

問：やまなみ荘改修は、現場の料理長などの意見を取り入れて進めてほしい。

答：現在、現場との打合せを行い進めている。

問：改修事業で本館2階の空調設備の整備の予定はあるか。

答：現在設計を進めている中で、調整し検討したい。

問：カニを食材にした料理プランはできないか。

答：カニは材料費がかさみ難しい。素材に手を加えて調理し単価を抑え提供している。